

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 ディーエムソリューションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6549 URL http://www.dm-s.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花矢 卓司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 吉田 慎一郎 TEL 0422-57-3921
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年3月期第1四半期	4,670	6.0	146	120.9	149	103.6	98	109.0
2023年3月期第1四半期	4,405	12.0	66	—	73	—	47	—

（注）包括利益 2024年3月期第1四半期 98百万円（109.0％） 2023年3月期第1四半期 47百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	35.67	34.90
2023年3月期第1四半期	17.07	16.96

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2024年3月期第1四半期	5,389	2,576	46.5
2023年3月期	5,602	2,477	42.9

（参考）自己資本 2024年3月期第1四半期 2,503百万円 2023年3月期 2,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2024年3月期の配当は未定です。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	9,693	8.9	221	0.2	227	△1.9	146	10.6	52.91
通期	19,806	10.9	500	8.2	512	7.4	330	5.0	119.39

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	2,810,000株	2023年3月期	2,810,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	40,291株	2023年3月期	40,291株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	2,769,709株	2023年3月期1Q	2,769,746株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が弱まった一方で、ウクライナ情勢の長期化や世界的な原材料及びエネルギー価格の高騰等により、先行きの不透明な状況で推移しました。

このような事業環境の中、当社はダイレクトマーケティング実施企業に対して、マーケティングの各局面において最適なソリューションを提供するべく努めてまいりました。また、積極的な人材採用を行い、営業力及び提供サービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は4,670,540千円（前年同期比6.0%増）、営業利益は146,947千円（前年同期比120.9%増）、経常利益は149,224千円（前年同期比103.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は98,802千円（前年同期比109.0%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

i) ダイレクトメール事業

ダイレクトメール事業におきましては、充実した営業体制を基盤に、企画制作からデザイン、印刷、封入・封緘作業を一括して手がけるワンストップサービスの提供、郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開いたしました。また、EC通販市場の拡大に伴い需要が増加している宅配便等の小口貨物を取扱うフルフィルメントサービスについては、サービス提供体制の強化に努めました。

この結果、新規顧客の開拓及び既存顧客からの受注が堅調に推移し、売上高は4,143,398千円（前年同期比9.0%増）、セグメント利益は238,200千円（前年同期比30.9%増）となりました。

ii) インターネット事業

インターネット事業におきましては、コンサルティング型マーケティングサービスの提供を強化するとともに、これまで培ったWebサイトのコンテンツ制作ノウハウを活かしたパーティカルメディアサービス（注）にも引き続き注力いたしました。

この結果、売上高は311,426千円（前年同期比9.3%減）、セグメント利益は47,636千円（前年同期比108.4%増）となりました。

（注）パーティカルメディアサービスとは、特定の分野に特化した自社Webサイトの運営を通じて、利用者へ有益な情報や各種サービスを提供するサービスです。

iii) アパレル事業

アパレル事業におきましては、子会社である株式会社ピアトランスポート（以下、ピアトランスポート）の販売体制の整備充実を図るとともに経営体制の強化を進め、ピアトランスポートのサイトを通じた商品の販売の促進に努める一方で、為替やインフレ等の外部環境の影響を受けました。

この結果、売上高は215,715千円（前年同期比17.5%減）、セグメント利益は14,596千円（前年同期比18.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は5,389,502千円となり前連結会計年度末に比べ、212,507千円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少254,152千円によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は2,812,849千円となり前連結会計年度末に比べ、311,309千円減少しました。これは主に、長期借入金の減少67,446千円、未払法人税等の減少47,499千円、賞与引当金の減少61,116千円及び未払金の減少63,549千円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,576,652千円となり前連結会計年度末に比べ、98,802千円増加しました。これは利益剰余金の増加によるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,323,650	1,069,498
受取手形及び売掛金	2,088,770	2,168,330
棚卸資産	170,762	192,259
その他	211,452	216,138
貸倒引当金	△7,539	△7,651
流動資産合計	3,787,096	3,638,575
固定資産		
有形固定資産		
土地	668,606	668,606
その他	483,167	467,369
有形固定資産合計	1,151,774	1,135,975
無形固定資産		
のれん	190,275	184,329
その他	49,460	45,794
無形固定資産合計	239,735	230,123
投資その他の資産		
その他	425,302	386,768
貸倒引当金	△1,898	△1,941
投資その他の資産合計	423,403	384,827
固定資産合計	1,814,913	1,750,926
資産合計	5,602,009	5,389,502
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,436,152	1,408,553
1年内返済予定の長期借入金	228,994	204,496
未払法人税等	106,231	58,732
賞与引当金	127,671	66,555
その他	574,194	466,884
流動負債合計	2,473,244	2,205,221
固定負債		
長期借入金	643,434	600,486
その他	7,481	7,142
固定負債合計	650,915	607,628
負債合計	3,124,159	2,812,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	342,591	342,591
資本剰余金	268,758	268,758
利益剰余金	1,844,067	1,942,869
自己株式	△50,292	△50,292
株主資本合計	2,405,123	2,503,926
新株予約権	72,726	72,726
純資産合計	2,477,850	2,576,652
負債純資産合計	5,602,009	5,389,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,405,835	4,670,540
売上原価	3,687,570	3,894,890
売上総利益	718,265	775,649
販売費及び一般管理費	651,738	628,702
営業利益	66,527	146,947
営業外収益		
受取利息	0	86
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	4,244	2,597
為替差益	3,287	726
その他	1,062	473
営業外収益合計	8,595	3,885
営業外費用		
支払利息	1,278	1,148
支払手数料	555	378
その他	2	81
営業外費用合計	1,835	1,608
経常利益	73,287	149,224
税金等調整前四半期純利益	73,287	149,224
法人税、住民税及び事業税	26,009	50,422
四半期純利益	47,277	98,802
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,277	98,802

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	47,277	98,802
四半期包括利益	47,277	98,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,277	98,802
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ダイレクトメ ール事業	インターネッ ト事業	アパレル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,801,025	343,265	261,544	4,405,835	—	4,405,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,095	1,095	△1,095	—
計	3,801,025	343,265	262,640	4,406,931	△1,095	4,405,835
セグメント利益	182,003	22,861	17,950	222,815	△156,288	66,527

(注) 1. セグメント利益の調整額△156,288千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ダイレクトメ ール事業	インターネッ ト事業	アパレル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,143,398	311,426	215,715	4,670,540	—	4,670,540
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50	—	231	281	△281	—
計	4,143,448	311,426	215,946	4,670,821	△281	4,670,540
セグメント利益	238,200	47,636	14,596	300,433	△153,486	146,947

(注) 1. セグメント利益の調整額△153,486千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。